

平成 29 年 4 月 7 日
株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント

家事はほどほど 好きなことに注力したいアラフィフ女性

— 『R&D Around50 レポート 2017』発行 —

株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント(所在地:東京都新宿区、代表取締役:五十嵐 幹)は、今後注目すべき層としてアラフィフ(45-54 才)女性にフォーカスし、LINE でのやりとりや座談会で彼女たちのホンネに迫る「Around50 コミュニティ」を運営しております。

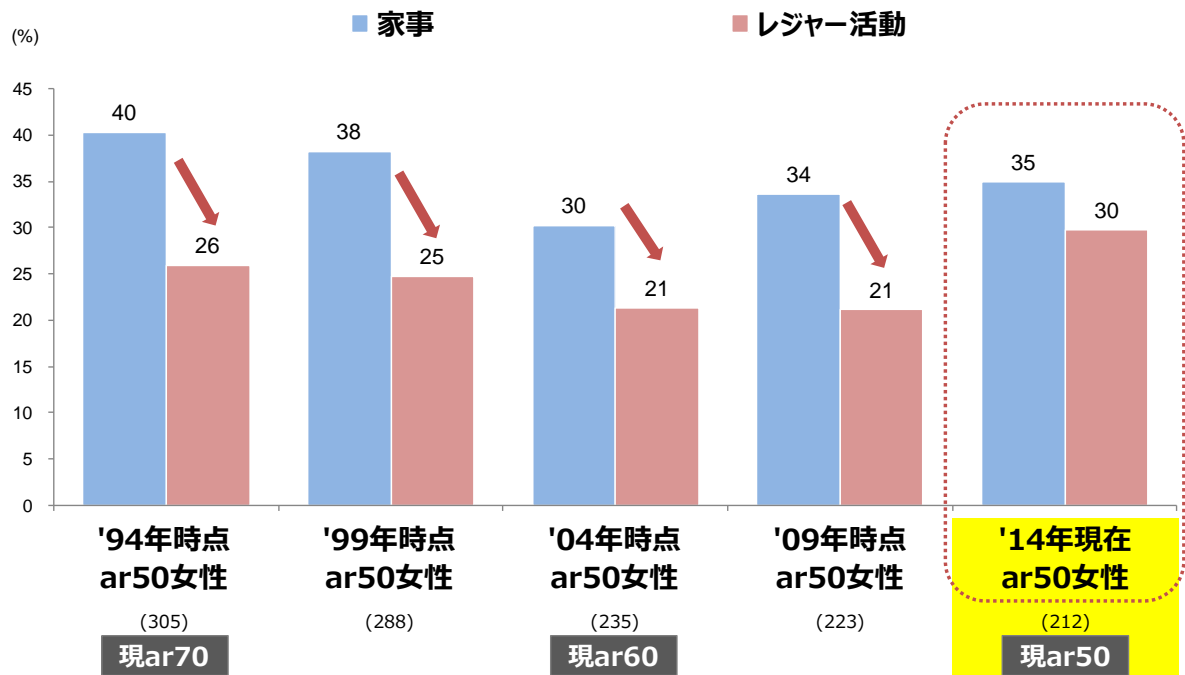
このたび本コミュニティから得られた知見と、R&D 独自調査である生活者総合ライフスタイル調査「CORE」のデータを用いて、アラフィフ(以下「ar50」)女性の姿を分析した『R&D Around50 レポート 2017』を発行いたしました。

今回は本レポートの中から「家事への意識」に関するデータをご紹介します。

“家事もするけど レジャーも楽しみたい”

- 各時代の ar50 女性を比較すると、現 ar50 女性は「レジャー活動」に力を入れていきたい人の割合が高い。
- 現 ar50 女性は家事とレジャー活動で力を入れていきたい割合の差が最も小さくなっている。

(図1) 家事 VS レジャー活動 力を入れていきたい割合



*「非常に力を入れていきたい」+「かなり力を入れていきたい」の合計

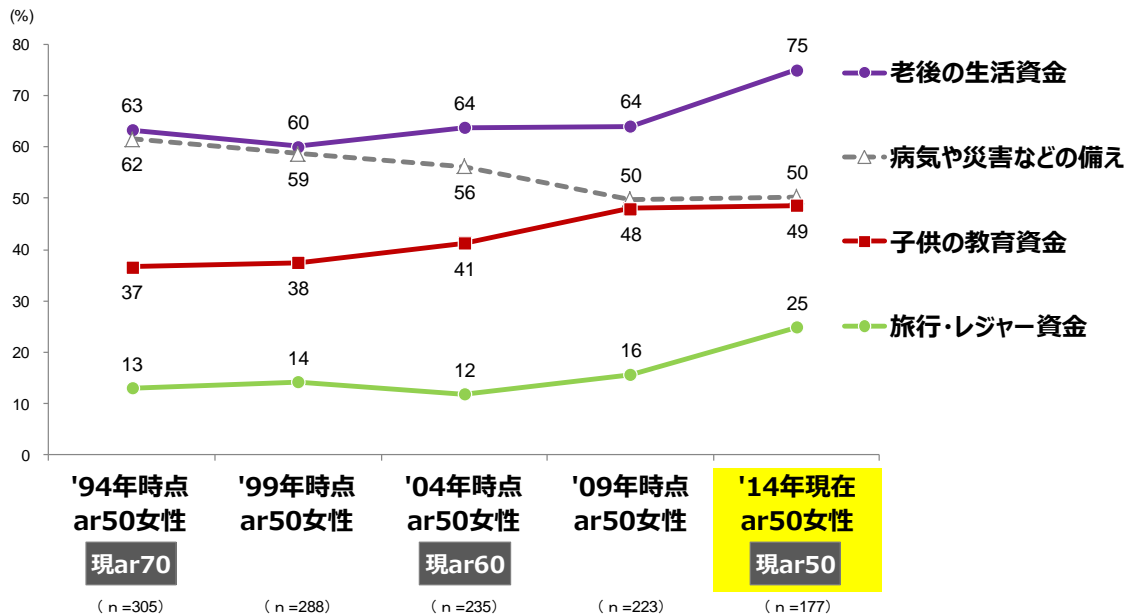
(非常に力を入れていきたい/かなり力を入れていきたい / どちらともいえない/あまり力を入れていきたい/全然力を入れていきたいの5段階で聴取)

(出典) R&D「CORE1995~2015」各年より (Around50レポートに掲載)

“将来の備えはしつつも レジャーのための預貯金にも前向き”

- 各時代のar50女性の預貯金目的を比較すると、現ar50女性は上の年代に比べて旅行・レジャー一目的が高い。

(図2) 預貯金の主な目的 (3つまで選択)(上位項目のみ抜粋)



(出典) R&D「CORE1995~2015」各年より (Around50レポートに掲載)

“「自分のレジャー」に時間もお金も使いたい”

- 自由に使えるお小遣いは「元気のもと」「心の栄養」と、自分自身が前向きであるための費用として使われている。
- 旅行といった大きな出費を伴うものだけでなく、友人とのランチや音楽・美術鑑賞など、日常でのささやかな楽しみも使いみちのひとつ。

(図3) 自由に使えるお小遣いの使いみち (Around50 コミュニティでの発言より抜粋)

お小遣いの使いみち

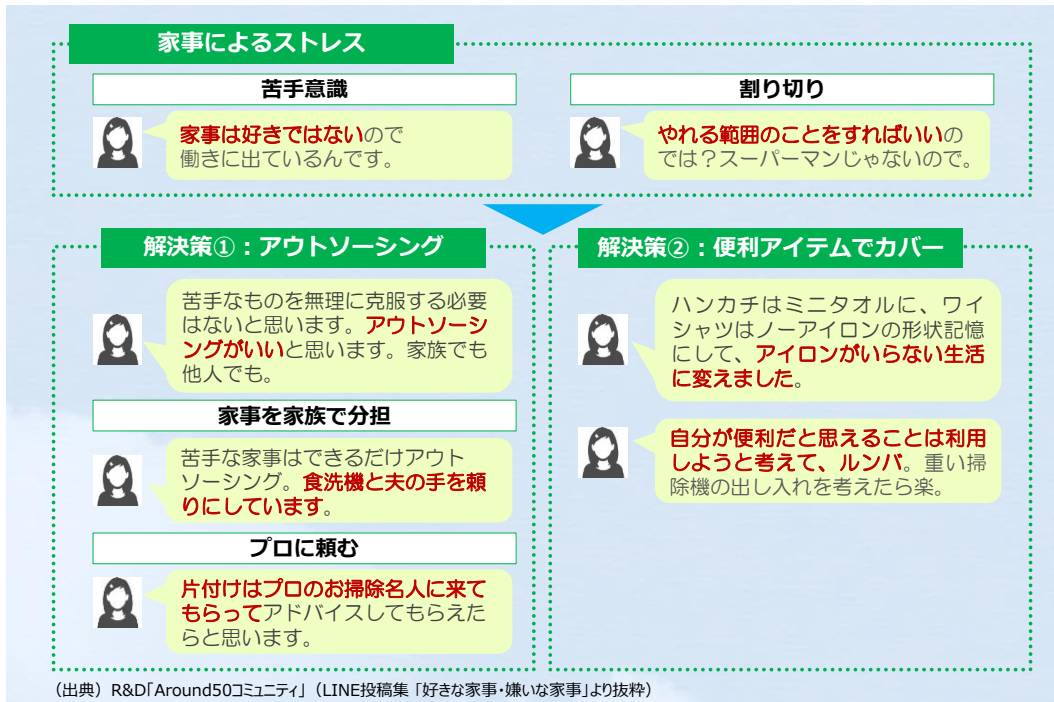
- お芝居、映画、美術館や展覧会へ行く費用は、まとめるとかかっていると思います。心の栄養は大事なので。
- 友達とのランチです。私も友人と過ごす時間が元気のもとです。
- 今はEXILEからパワーを貰って生きているので、ライブのチケット代やCD代、遠征代です。

(出典) R&D「Around50コミュニティ」(Around50レポート記載内容より抜粋)

“ストレスをためないため 家事はほどほどに「割り切り」”

- 「家事は家族のために私がすべき」という価値観から脱し、「自分がやりたい」家事に対しては一生懸命、そうでないことはそこそこで良いという割り切りをしている。
- 苦手・嫌いな家事の克服法として、積極的に家族やプロに「アウトソーシング」したり、最新のお役立ち「便利アイテム」を活用するなど、上手に“頼る”方法が挙げられている。

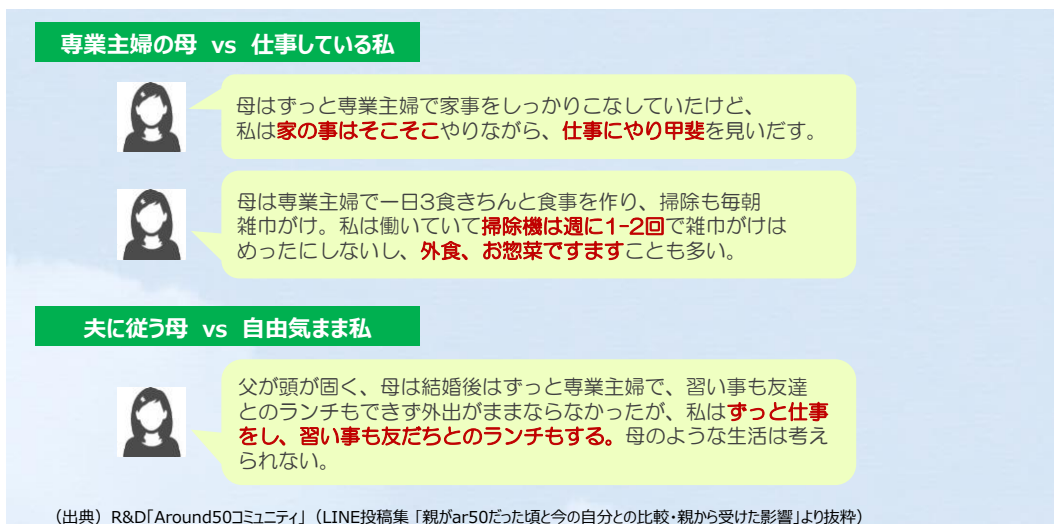
(図4) 苦手・嫌いな家事とその克服法 (Around50 コミュニティでの発言から抜粋)



“母娘で異なる家事への時間のかけ方”

- 現 ar50 女性とその母親の ar50 時代では家事への価値観が大きく異なっている。毎日家事ばかりだった母親世代と比べて、現 ar50 女性は家事ばかりでなく自分の楽しみにも時間を使っている。

(図5) ar50 の頃の親と今 ar50 の私 (Around50 コミュニティでの発言から抜粋)



R&D 発 生活者インサイト

◇自分の楽しみをあきらめたくない ar50 女性

今回、現 ar50 女性の特徴を見るために、現 ar60、現 ar70 女性が ar50 だった頃の意識や価値観を比較しました。現 ar50 女性は家事はほどほどに行う一方で、レジャー活動への注力意欲は高くなっていることが明らかとなりました。

彼女たちにとって家事(それも苦手なもの)は「好きなことを行う時間が削られてしまう行為」であり、これをストレスとして感じてしまっているといった声も多く聞かれます。「家事は家族のために私がすべき」という価値観から自分の楽しみをある程度制限した上の年代と比べて、日々を忙しく過ごす中でも、自身の楽しみに対して時間やお金を割くことを厭わない、ポジティブな一面を持っているようです。

◇家事を割り切り、「私の自由で楽しい時間」を生み出す

今の ar50 女性は、社会に出る頃に雇用機会均等法が施行され、女性の社会進出が進むなど、生き方の選択肢が多様化した社会のトップランナーとして生きてきた世代です。そのため、生き方と同じように家事でも「私は何をやりたいか、やりたくないか」の取捨選択を行っています。

合理的に割り切り、柔軟な考え方を持つ今の ar50 女性は、苦手な家事に対してはアウトソーシングや便利アイテムの活用といった対処でうまく乗り切っているようです。

彼女たちの最大のニーズは「自分のしたいこと」をすることであり、しかも「したいこと」をたくさん持っています。たくさんの「したいこと」に優先順位をつけていて、「最もしたいこと」のために他を割り切る合理性も持ち合わせています。

彼女たちの「最もしたいこと」に注目することも必要ですが、この合理的な割り切りにも注目し、それらをサポートするモノやサービスを提供していくことも必要だと思われます。どんな割り切りのホンネがあるのか、それを探るためにも「Around50 コミュニティ」をぜひご活用ください。

今回発表いたしましたデータを含む『R&D Around50 レポート 2017』は、Around50 コミュニティメンバーによるオンライン上での発言をまとめた LINE 投稿集とセットで、125,000 円(税別)にて販売しております。

詳細につきましては弊社ホームページ <http://www.rad.co.jp/> をご覧ください。

■R&D Around50 レポート 2017 概要■

価格： 125,000 円(税別)
納品物： 冊子 一冊(全 90 ページ) + デジタルデータ版(PDF ファイル) +
Around50 コミュニティ LINE 投稿集(1テーマ分)1冊

各種公開データに加え、生活者総合ライフスタイル調査「CORE」や「Around50 コミュニティ」
など、R&D が持つ独自の情報を盛り込んだ、R&D オリジナルレポート

■バブル体験世代・プレシニア世代のホンネを知る『Around50 コミュニティ』■

調査手法： LINE によるオンラインコミュニティ&インタビュー・座談会
調査対象： 45～54 歳女性
メンバー数： 43 名(2017 年 1 月現在/リビング新聞読者モニターより選出)
調査時期： 2016 年 5 月より継続運営

■生活者総合ライフスタイル調査システム『CORE』■

調査名： CORE マスター調査
調査地域： 首都圏 40km圏(調査地点 200 地点)
調査対象： 18～79 歳男女個人
サンプル数： 有効回収 3000 サンプル (人口構成比に合わせて、性×年代別を割付)
サンプリング手法： 住宅地図を用いたエリアサンプリングで抽出
調査手法： 訪問・郵送併用の自記入式留置調査
調査実施時期： 毎年1回 10 月実施

※『CORE』は、株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメントの登録商標です。

■会社概要■

会社名： 株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント
所在地： 〒163-1424 東京都新宿区西新宿 3-20-2
代表者： 代表取締役社長 五十嵐 幹
資本金： 30,000 千円
設立： 1968 年 1 月 17 日
URL： <http://www.rad.co.jp>
事業内容： マーケティング・リサーチの企画設計、実施及びコンサルテーション
経営・マーケティング活動の評価及びコンサルテーション

〈引用・転載時のクレジット表記のお願い〉
本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。
〈例〉「(株)リサーチ・アンド・ディベロプメントが実施した調査によると・・・」

■お問い合わせ先■

- 本分析担当：
株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント セールスプランニング部 (大竹)
- 本資料に関するお問い合わせ：
株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント セールスプランニング部 (小林)
TEL：03-6859-2281 e-mail：radnews@rad.co.jp